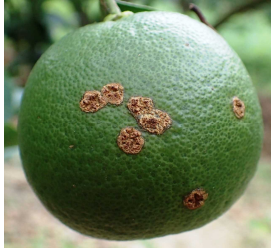
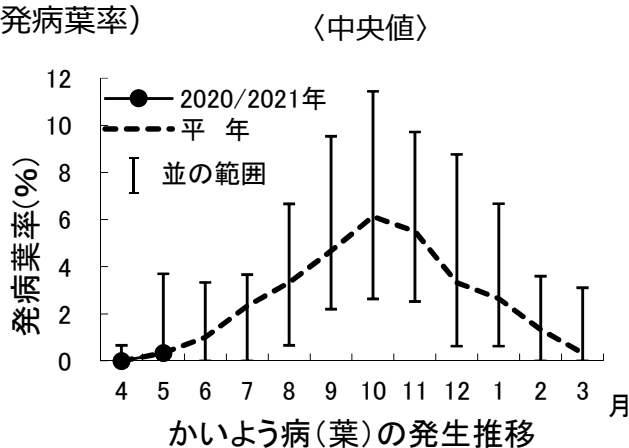


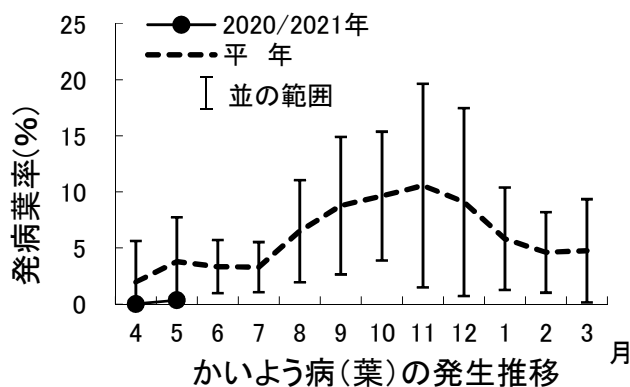
作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	① かいよう病		
予報	6 月の発生量 (平年比)	並	
	5 月からの増減傾向	→	
予報の根拠	5 月の発生量 (平年比)	並	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移 (→) 今後 1 か月の降水量が平年並か少ない見込み	

調査結果

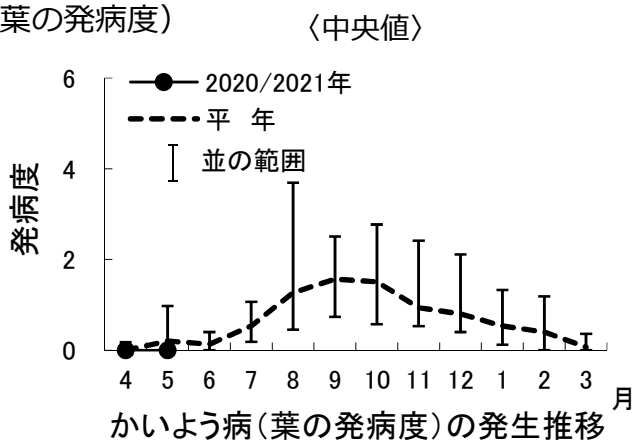
(発病葉率)



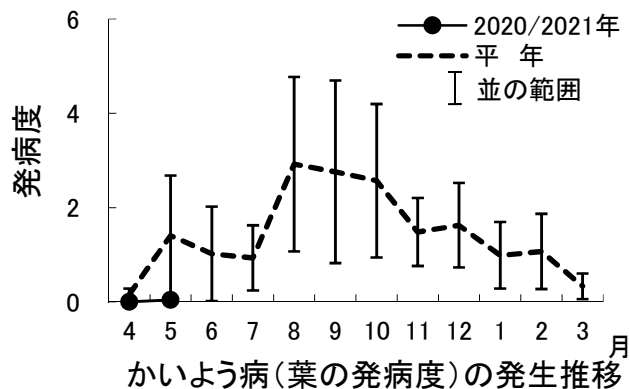
〈平均値〉



(葉の発病度)



〈平均値〉




防除のポイント

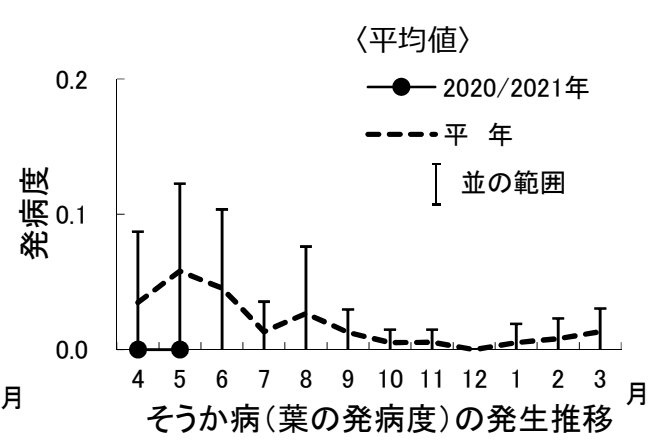
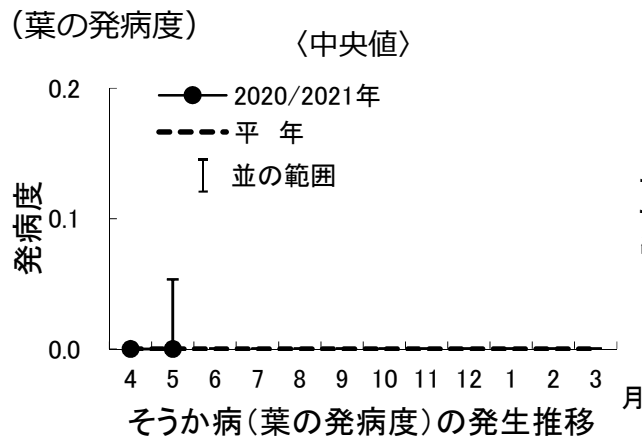
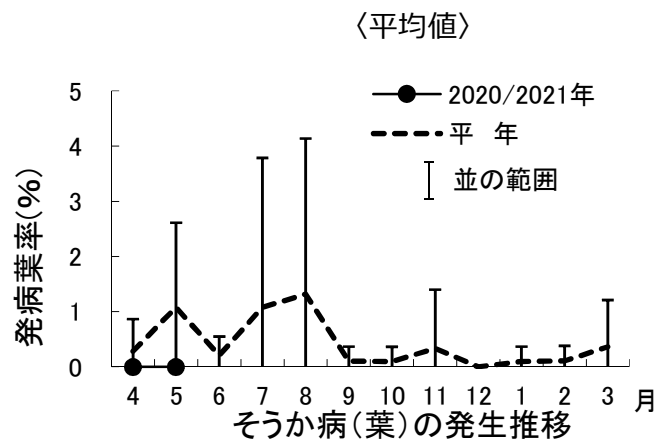
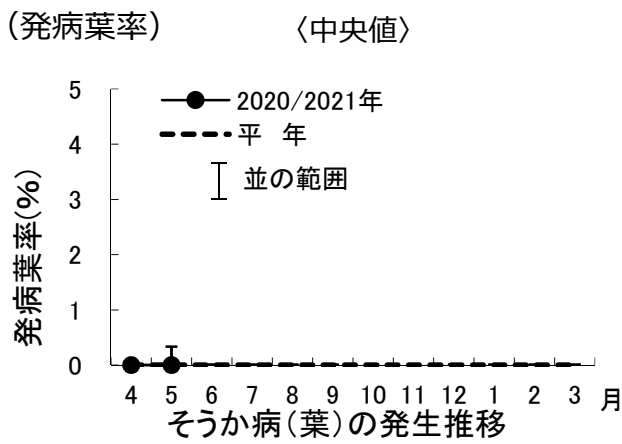
- ・罹病枝などの病斑が伝染源となり、台風による葉や枝の傷口 (風傷) は感染を助長することから、台風前後ともに薬剤防除を行う。
- ・本病はミカンハモグリガによる食害痕から発生しやすく、翌年の伝染源になるので、ミカンハモグリガ被害葉の除去に努める。



被害葉→

作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	② そうか病		
予報	6 月の発生量 (平年比)	並	
	5 月からの増減傾向	→	
予報の根拠	5 月の発生量 (平年比)	(発生なし)並	
	その他 (気象要因など)	今後 1 か月の降水量が平年並か少ない見込み	

調査結果



防除のポイント

- 罹病葉・枝は伝染源になるので除去する。

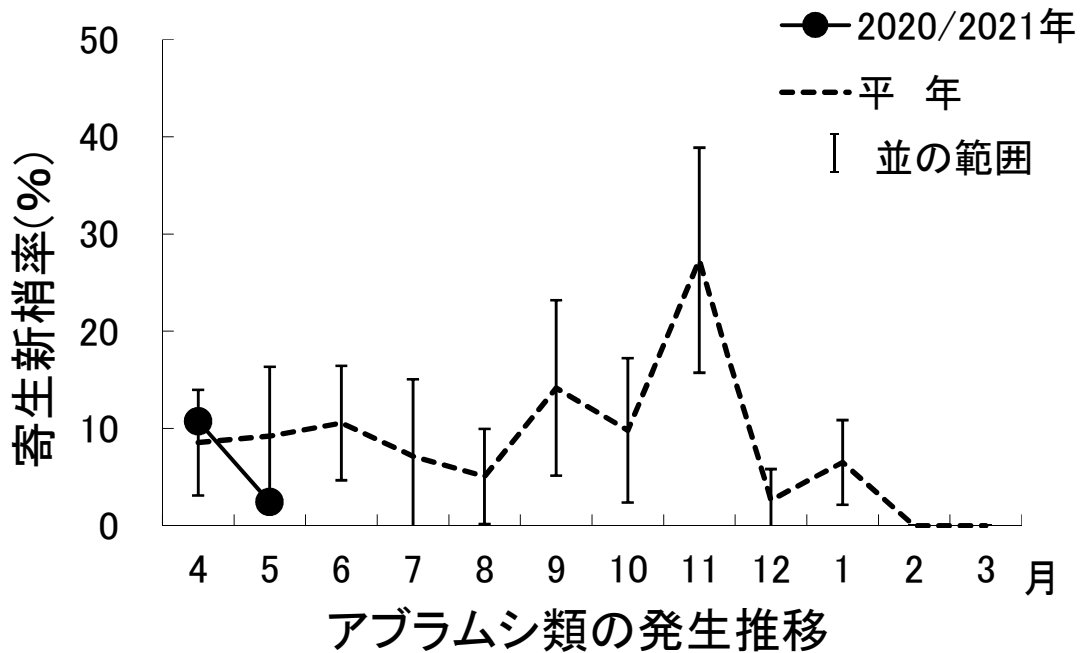
被害葉→



作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島
病害虫名	③ アブラムシ類		
予報	6 月の発生量（平年比）	並	
	5 月からの増減傾向	→	
予報の根拠	5 月の発生量（平年比）	並	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移 (→)	



調査結果



・ 発生ほ場率：40%（平年42.1%）

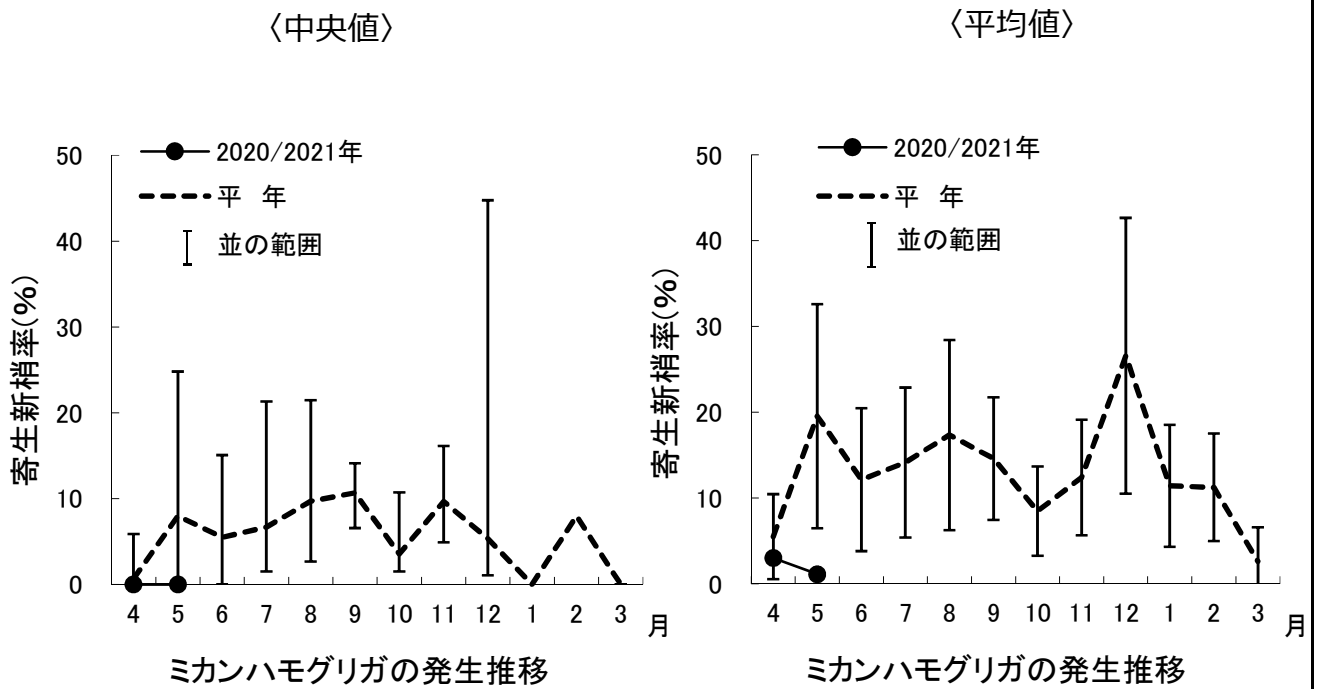
防除のポイント

- ・ テントウムシなどの天敵によって本種の増殖は抑えられるが、密度が高い場合には薬剤による防除を行う。
- ・ 新梢や新葉に寄生する。アリを探すことで、アブラムシの発見が容易になる。



作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島
病害虫名	④ ミカンハモグリガ		
予報	6 月の発生量（平年比）	並	
	5 月からの増減傾向	↘	
予報の根拠	5 月の発生量（平年比）	並	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移 (↘)	


調査結果



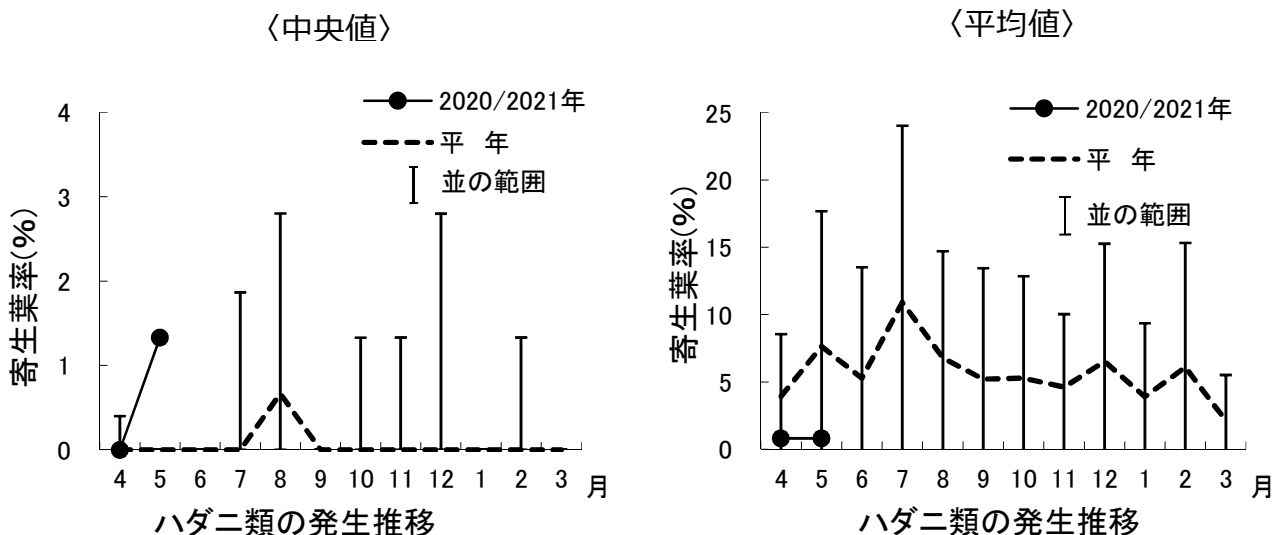
・ 発生ほ場率：40%（平年60.6%）

防除のポイント

- ・ 被害葉にかいよう病が発生しやすく、伝染源になるので除去に努める。
- ・ 被害が目立つ場合は薬剤による防除を行う。

作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島
病害虫名	⑤ ハダニ類		
予報	6 月の発生量（平年比）	並	
	5 月からの増減傾向	↓	
予報の根拠	5 月の発生量（平年比）	やや多	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移 (↓)	

調査結果



・ 発生ほ場率：60%（平年27.5%）

防除のポイント

・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症状